

県予算要望自民党ヒアリングが開催

7月17日(火)16時10分から県庁新庁舎議会第6会議室において31年度県予算要望自民党ヒアリングが行われた。組合から三役及び各委員会委員長の8名が参加、自民党から建設グループの桐生グループ長、国松事務局長、竹内・山本・田中・芥川・小澤各委員が対応した。公共施設の老朽化に伴う建替えでの鉄骨造の積極的採用、働き方改革における当業界の置かれた立場から合理的な請負代金と適正な工期設定がされないことなどを要望した。質疑応答では人材不足の状況、現場の



職人はむしろ休日増による賃金の減を危惧している、工期のズレなどによる休日・時間外労働の必然性などを話し合った。最後に国松局長からは「働き方改革が如何に難しい問題を抱えているか分かった。自民党政権での重要な政策なので今後とも問題等を話し合っ

ていきたい」と挨拶された。

青年部の横顔

No 8



北條鉄工(株)
専務取締役 北條 功
川崎市川崎区鋼管通4-3-15
TEL 044-344-5621
FAX 044-344-0623
E-mail
i-hojo@hojo-tekko.co.jp

弊社は創業104年になり、以前はHグレードを取得し「東京ビッグサイト」やスキードーム「ザウス」など重量鉄骨等数多く施工してきました。しかし、時代の流れにより重量鉄骨は余りやらなくなり、それからは自動車メーカーの工場の耐震補強工事をメインに行っております。現在はグレードを無くしてしまいましたが、今までの経験を活かして少数精鋭で日々頑張っております。

自分は鉄骨業界に入ってまだ5年ほどと経験が浅いので、分からないことが未だに数多くあり、同年代の人に相談する機会があまりなく悩んでいました。そんな時に仕事の初歩的なことからプライベートの悩みまで何でも相談できる仲間が出来たのが青年部でした。今ではそういった仲間に出会えることができましたし、他県の同業者とも交流する機会が増えたりして、とても有意義な時間を過ごせていると思っています。

暑中お見舞い申し上げます。

日頃格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。暑さ厳しき折柄ご自愛下さいます様お祈り申し上げます。

平成三十年 盛夏

神奈川県鉄構業協同組合

理事 岸部直喜	副理事 石井二三夫	副理事 澤田和夫	副理事 岡部仁陽	副理事 福士勝利	相談役 加藤卓郎
---------	-----------	----------	----------	----------	----------

Mグレード部会の開催

7月4日(水)15時から組合事務所で開催された。自分の請負価格の参考にするための工事請負価格実態調査は前回では項目設定において一部に単位、範囲に統一性が取れていなかった反省から調査表の項目、単位等について意見を出し合った。秋には調査を実施する予定。今後の活動については、資格取得講習を強化する方向となったが玉掛けから危険物保管まで鉄骨製作において必要な資格を洗い出して検討していく、東京のMグレード部会が毎月実施している受注量・単価調査は会員間の仕事の繁閑を調節する目的もあることから神奈川県も継続していくかどうか話し合われたが安値受注を防止する手段ともなるので継続していくことが確認された。全国Mグレード部会が実施する固形エンドタブ技量試験は11月3日に千葉で開催されることに関連



してこの資格は有効かとの質問に対して試験要綱と資格証を提出すると固形タブの使用を認められるとの意見があった。

市況情報では、山積みは秋まで、多いところで年内一杯、鉄骨単価は100トン未満のオントラで21~25万。図面承認の遅れ、現場の遅れにより製作の間が空くことが生じている。鋼材はコラムは2週間以上、BCPの場合は10か月以上もかかり注意が必要、ボルトは品薄の傾向で、溶材も注文の半分しか調達できないこともあるとの声が多かった。

全構協からの連絡事項

3月に配布しました「鉄骨製作工場の基準マニュアル集(30年3月改訂)」の記載内容の誤りの訂正について次の通り連絡がありました。

1 準拠図書の発行年

①日本建築学会 溶接接合設計施工ガイドブック

「2016年」を「2008年」に訂正

②日本建築センター 冷間生計角形鋼管設計・施工マニュアル

「2017年」を「2018年」に訂正

2「JASS6(2018年版)の主な改訂箇所(抜粋)」の用語の改訂

①「サイズ→脚長」を削除

②「脆性域→ぜい域」を「脆性域→ぜい性域」に訂正

③「さび止め塗料→下塗り用塗装」を「さび止め塗料→下塗り用塗料」に訂正

暑中お見舞い申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り御礼申し上げます。
酷暑の折柄ご自愛ご発展をお祈り申し上げます。
平成三十年 盛夏



(株)アイテック神奈川支店
(株)アック相模原営業所
(株)アマダマシンツール
井上鋼材(株)
(株)海老名鋼材
エムエム建材(株)
コンドーテック(株)神奈川営業所
(株)湘南ガルバー
(株)星和横浜営業所
大同生命保険(株)横浜支社
ダイニッカ(株)神奈川支店
大日本塗料(株)神奈川営業所
日東亜鉛(株)
フルサト工業(株)神奈川営業所
美鈴印刷紙工(株)
明和建材(株)
良工舎山本鋼業(株)

Fabを訪ねて[移転編]

お客様の目線で丁寧に仕上げ、信用の積み重ねで明日の発展を築く。

有限会社斎藤鉄工

綾瀬市上土棚中3-8-53

代表者 斎藤雅之 Tel 0467(84)9845 fax 0467(84)9846

Eメール saitoutekkoh@kki.biglobe.ne.jp

泉区の上飯田に工場を構えていたが、借り工場であったため拡充も出来ず、騒音問題も抱えていた。現在はご子息二人が加わり事業を営んでいるため経営の安定性と発展を期し、これを契機に移転を考えてこられた。昨年秋に知り合いの不動産屋が現地物件の購入を打診してきたので12月に移転し、今年1月から稼働している。ここは以前型枠のセパレート製造工場であったためネジ切りに多量の油を使用していた工場内の油層がまだ完全には除去出来ていない状態でもある。前の工場より工場面積が2倍となり作業効率もよくなり、準工業地域でこの団地には20社ほど集積していて民家への騒音問題もなくなりメリットが大きい。建物は2棟になっているので鉄骨製作工場として使い勝手の良いように改造中である。鉄骨製作を主体に付帯金物も引き受けて現地で据え付けることを基本としているが、クレーンの製造・据え付けも扱っていてこの製造認定資格も狙っている。社長は「工場の移転を機にRグレードの取得を目指す」と抱負を述べられ、長男の毅氏は「仕事が忙しい中でも資格をより充実させ、本腰を入れてグレード取得に取り組んでいきたい」と語られた。



データファイル

創業	平成 5年11月 日
法人設立	平成 5年11月 日
資本金	300万円
従業員数	3名
加工能力	年400トン
工場敷地	598 m ²
工場面積	350 m ²
事業内容	建築鉄骨工事 建築金物工事
主取引先	堀建設、創和ハウジング、タクト、大場建設
主な実績	弓削ビル新築、日産設備自社ビル新築